



平成 29 年 3 月期 第 2 四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成 28 年 11 月 4 日

上場会社名 日精樹脂工業株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 6293 URL <http://www.nisseijushi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 依田 穂積  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 荻原 英俊 TEL 0268-82-3000  
 四半期報告書提出予定日 平成 28 年 11 月 10 日  
 配当支払開始予定日 平成 28 年 12 月 5 日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 3 月期第 2 四半期	17,958	△2.5	1,410	△8.5	799	△40.0	567	△44.9
28 年 3 月期第 2 四半期	18,414	3.2	1,541	23.3	1,332	△20.6	1,030	△30.7

(注) 包括利益 29 年 3 月期第 2 四半期 △288 百万円 (-%) 28 年 3 月期第 2 四半期 957 百万円 (△41.6%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29 年 3 月期第 2 四半期	28.41	28.12
28 年 3 月期第 2 四半期	51.61	51.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29 年 3 月期第 2 四半期	51,187	28,978	56.4
28 年 3 月期	49,310	29,440	59.5

(参考) 自己資本 29 年 3 月期第 2 四半期 28,866 百万円 28 年 3 月期 29,341 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28 年 3 月期	—	8.00	—	10.00	18.00
29 年 3 月期	—	8.00	—	—	—
29 年 3 月期 (予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 29 年 3 月期の連結業績予想 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	35,000	△8.6	2,400	△11.4	1,900	△10.8	1,250	△49.4	62.56

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 — 社（社名）、 除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期 2Q	22,272,000株	28年3月期	22,272,000株
② 期末自己株式数	29年3月期 2Q	2,284,275株	28年3月期	2,313,175株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期 2Q	19,973,275株	28年3月期 2Q	19,958,825株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高基調が継続したものの企業収益や雇用情勢に緩やかな回復が継続いたしました。一方で、米国経済が引き続き堅調に推移いたしました。中国経済の停滞等から先行きは不透明な状況であります。

当社グループが所属する射出成形機業界におきましては、国内および米国を中心に需要が堅調に推移し、東南アジア等で回復の兆しが見られますが、中国市場では依然として低調な状態が継続しております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主力である射出成形機の販売が中国等で低調だったこと等から売上高合計は179億5千8百万円（前年同四半期比2.5%減）となりました。製品別売上高につきましては、射出成形機売上高が137億7千6百万円（前年同四半期比2.4%減）、部品売上高が24億8千7百万円（同6.6%減）と減少しましたが、周辺機器売上高が11億3千1百万円（同4.2%増）、金型等の売上高が5億6千3百万円（同3.2%増）となりました。

利益面につきましては、射出成形機の売上が減少したこと等から営業利益は14億1千万円（前年同四半期比8.5%減）となりました。また為替差損6億8千2百万円を計上したこと等により経常利益は7億9千9百万円（同40.0%減）となり、これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億6千7百万円（同44.9%減）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

## ① 日本

自動車関連等の需要が堅調に推移しましたが、IT関連の需要が減少したこと等から売上高（外部売上高）は92億3千6百万円（前年同四半期比1.3%減）、セグメント利益は2億5千8百万円（同80.3%減）となりました。

## ② アメリカ地域

自動車関連および医療関連からの需要が堅調だったことから売上高（外部売上高）は46億7千8百万円（前年同四半期比0.7%増）、セグメント利益は4億5千万円（13.4%増）となりました。

## ③ アジア地域

東南アジアでの需要が増加しましたが、中国での需要が低調に推移したことから、売上高（外部売上高）は40億4千4百万円（前年同四半期比8.4%減）、セグメント利益は3億9千8百万円（前年同四半期実績はセグメント損失1億7百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産・負債および純資産等の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ18億7千7百万円増加し、511億8千7百万円となりました。主たる増加要因は、現金及び預金の増加26億4千6百万円であり、主たる減少要因は、商品及び製品の減少6億5千9百万円および受取手形及び売掛金の減少3億6千1百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ23億3千9百万円増加し、222億9百万円となりました。主たる増加要因は、支払手形及び買掛金の増加31億4百万円であり、主たる減少要因は、長期借入金の減少5億3千1百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億6千2百万円減少し、289億7千8百万円となりました。主たる増加要因は、利益剰余金の増加3億6千7百万円であり、主たる減少要因は、為替換算調整勘定の減少9億1千5百万円であります。

## ② 連結キャッシュ・フローの状況

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、28億3千9百万円（前年同四半期実績は1億7千3百万円）となりました。このうち、キャッシュ・インの主たる要因は、税金等調整前四半期純利益7億9千9百万円および仕入債務の増加額28億2百万円ならびに売上債権の減少額9億7千2百万円であり、キャッシュ・アウトの主たる要因は、たな卸資産の増加額6千3百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、△2億2百万円（前年同四半期実績は△2億8千6百万円）となりました。このうち、キャッシュ・アウトの主たる要因は、有形固定資産の取得による支出1億5千6百万円および無形固定資産の取得による支出4千6百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、△7億9千1百万円（前年同四半期実績は△8億9千6百万円）となりました。このうち、キャッシュ・アウトの主たる要因は、長期借入金の返済による支出5億3千1百万円および配当金の支払額1億9千6百万円であります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前第2四半期連結累計期間末に比べ44億9千7百万円増加し113億7千1百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の通期業績予想につきましては、本資料の開示時点において、平成28年8月5日に公表した各予想値を修正しておりません。

今後、受注状況や環境要因の変化等を勘案し、業績予想の修正が必要と判断される場合には、可及的速やかに開示することといたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
特定子会社につきましては、該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,727	11,374
受取手形及び売掛金	10,010	9,648
有価証券	1,190	—
商品及び製品	8,085	7,425
仕掛品	2,633	2,506
原材料及び貯蔵品	4,149	4,091
未収入金	2,223	3,609
その他	1,016	1,161
貸倒引当金	△462	△408
流動資産合計	37,572	39,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,022	2,798
機械装置及び運搬具(純額)	1,157	1,054
土地	4,464	4,439
その他	343	376
有形固定資産合計	8,988	8,668
無形固定資産	353	336
投資その他の資産		
投資有価証券	1,241	1,243
その他	1,167	1,542
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	2,395	2,773
固定資産合計	11,737	11,778
資産合計	49,310	51,187
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,567	13,671
1年内返済予定の長期借入金	1,063	1,063
未払法人税等	314	92
引当金	307	293
その他	1,606	1,660
流動負債合計	13,858	16,781
固定負債		
長期借入金	2,441	1,909
退職給付に係る負債	3,262	3,224
その他	307	294
固定負債合計	6,011	5,428
負債合計	19,870	22,209
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,362	5,362
資本剰余金	5,478	5,477
利益剰余金	19,201	19,569
自己株式	△1,109	△1,096
株主資本合計	28,932	29,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	288	255
為替換算調整勘定	248	△667
退職給付に係る調整累計額	△127	△34
その他の包括利益累計額合計	409	△446
新株予約権	98	111
純資産合計	29,440	28,978
負債純資産合計	49,310	51,187

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	18,414	17,958
売上原価	12,513	12,669
売上総利益	5,900	5,288
販売費及び一般管理費	4,359	3,877
営業利益	1,541	1,410
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	11	12
その他	97	103
営業外収益合計	113	119
営業外費用		
支払利息	6	8
為替差損	301	682
その他	14	39
営業外費用合計	322	730
経常利益	1,332	799
税金等調整前四半期純利益	1,332	799
法人税等	302	231
四半期純利益	1,030	567
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,030	567



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,030	567
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	△32
為替換算調整勘定	△68	△915
退職給付に係る調整額	23	92
その他の包括利益合計	△72	△855
四半期包括利益	957	△288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	957	△288

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,332	799
減価償却費	365	353
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	240	△41
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	22
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	37	38
受取利息及び受取配当金	△15	△15
支払利息	6	8
売上債権の増減額 (△は増加)	419	972
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△826	△63
未収消費税等の増減額 (△は増加)	468	676
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,388	2,802
その他	△252	△2,296
小計	387	3,256
利息及び配当金の受取額	15	16
利息の支払額	△6	△8
法人税等の支払額	△223	△425
営業活動によるキャッシュ・フロー	173	2,839
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△283	△156
有形固定資産の売却による収入	2	0
無形固定資産の取得による支出	△52	△46
その他	47	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△286	△202
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△240	—
長期借入金の返済による支出	△384	△531
配当金の支払額	△258	△196
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 取得による支出	—	△52
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△13	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△896	△791
現金及び現金同等物に係る換算差額	△51	△387
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,061	1,456
現金及び現金同等物の期首残高	7,755	9,914
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	180	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,873	11,371

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	アメリカ地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	9,355	4,643	4,415	18,414
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,600	2	2,650	11,253
計	17,955	4,646	7,066	29,667
セグメント利益	1,308	396	△107	1,597

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,597
セグメント間取引消去	△55
四半期連結損益計算書の営業利益	1,541

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	アメリカ地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	9,236	4,678	4,044	17,958
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,288	29	3,167	9,485
計	15,525	4,707	7,212	27,444
セグメント利益	258	450	398	1,106

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,106
セグメント間取引消去	304
四半期連結損益計算書の営業利益	1,410

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。